

体育における取り組み

○はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行が収まらない中、体育の授業において、身体接触の少ないネット型種目などに変更を余儀なくされている。実際に行っている種目としては、「バドミントン・バレーボール・ソフトテニス・卓球・ダンス」などである。

本稿では、2 学年ダンスの授業での取り組みを紹介する。

○授業内容

①～② ダンスエクササイズ



・プロジェクターの映像を壁に映すことで、授業を受けている全員が、同じ時間に、同じ動きを習得することができた。

・「音楽に合わせて体を動かす」というねらいのもと、導入として行った。

③～⑤ 課題曲練習⇒発表



・教員が事前に撮影した映像を、プロジェクターで拡大し、再生した。

・2 時間練習した後、発表(テスト)を行った。発表は 6 名～7 名のグループに分けて行った。

⑥～⑫ 自由曲(グループ分け・曲決め・練習・中間発表・発表)

【グループ分け・曲決め】

3名～6名のグループを作り、自分たちが踊りたいダンスを話し合っ決定した。

【練習】

・曲が決まったグループから練習へと入った。練習では、授業内ルールのもと、自分たちのスマートフォンを利用し、映像を見たり、自分たちの踊っている様子を撮影して振り返りを行ったりした。

(別紙1「授業ルール」)

・各グループでその日の記録係を決めて、その日のグループの取り組みや次回への課題などを記入し、振り返りができるようにした。

(別紙2「振り返りシート」)



【中間発表】

中間発表は、各グループの進行状況を把握するために、教員に自分たちができるところまで発表するという形で行った。中間発表を設けることで、練習を開始してから「ここまではできるようにしよう」と見通しを立てることに繋がった。

【発表】

完成したものを発表し、互いに評価を行った。発表は、拍手や掛け声などで大いに盛り上がった。



〇まとめ

本授業は、「現代的なリズムのダンス」として、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることを目標に行った。課題に対する取り組みやグループ内での協力性もよく、とても熱心に取り組んでいた。

プロジェクターや生徒個人のスマートフォンなど、映像機器を活用したことで、大人数が同時に動きを共有することができた。準備・片付けに手間がかかるという課題点もあったが、映像機器の活用は体育ダンスの授業において、とても効果的であった。

別紙1

ダンス 授業ルール

- ①人と会話をするときには必ずマスクを着用すること。また、武道場入口にて手指消毒を行うこと。
- ②曲は原則2分30秒～3分30秒を目安とする。これを超える又は満たない場合については教員に相談すること。
- ③グループで2名まで、スマートフォンの使用を認める。ただし、授業に関係のないことに使用した場合、その後の使用は一切禁止とする。
スマートフォンは、ユーチューブ等の動画を見る、踊っているところを動画で撮影して動きを確認する、音楽を流すなどとする。授業時間内に撮影した動画等をSNS上にアップすることは禁じる。
- ④全体の進行状況を見て、中間発表を行う。(見るのは教員だけ)
その際、1分程度曲を流し、途中経過を発表できるようにする。
- ⑤1日に1人、記録係を決めて、その日の成果や次回への課題について記録し、提出する。

別紙2

R3年度 IV期ダンス 振り返りカード

○メンバー _____

○踊る曲 曲名 _____ アーティスト _____

○その日の成果と課題

| 日付 | 記入者 | 成果・課題・次回に向けて | 備考 |
|----|-----|--------------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |